

令和4年度 秋田県立矢島高等学校  
第2回学校運営協議会 議事録

【日時・場所】

令和4年10月24日（月）

14：20～15：05 授業参観

15：30～16：30 協議会（大会議室）

【出席者】

(1) 運営委員

大井 建史 【天寿酒造株式会社代表取締役社長】  
庄司 嘉政 【矢島高等学校元PTA会長】  
嵯峨 佳苗 【NPO法人鳥海山麓グリーンネット理事長】  
佐藤 知美 【社会福祉法人矢島恵育会矢島保育園保育士】  
武蔵 美佳 【矢島高等学校校長】  
(欠席) 佐々木正純、茂木雅人、佐藤俊弘、三浦秀人、山口晃治  
佐藤俊弥、佐藤由香、木内 潤、尾留川昭

(2) 矢島高等学校 [事務局]

淀谷 誠也 【教頭】  
丸山 隆 【事務長】  
高橋 晃二 【教諭（総務部主任・WG3委員長）】  
佐藤 久男 【教諭（教務部主任）】  
鎌田 勉 【教諭（生徒指導主事・WG2委員長）】  
黒木 育子 【教諭（進路指導主事）】  
湊 裕朗 【教諭（特別活動部主任・WG1委員長）】  
片桐 博美 【教諭（保健主事）】  
土田 伸也 【教諭（商業・情報科主任・YBP担当）】

## 【次 第】

### 1 学校運営協議会長あいさつ

本日は最初に授業参観させていただいたが、生徒全員が授業に集中できており、生徒に寄り添った少人数授業を行える矢島高校の本領が発揮できていると感じた。今後もこの方向性で向かっていってほしい。

### 2 出席者紹介（事務局：淀谷教頭）

### 3 校長あいさつ

本日は最初に授業参観をしていただいたが、生徒には一人一台タブレット端末が与えられており、機会があればタブレット端末を使用した授業も見たいと考えている。

前回協議会後の7月以降の学校の取組としては、YBP（矢島ブランディングプロジェクト）の取組が、7月中旬の秋田県高等学校生徒商業研究発表大会において準優勝し、8月の東北大会に三大会連続出場を果たした。7月下旬は新型コロナウイルス感染拡大のため、残念だが中高連携鳥海山登山と中学生の体験入学を中止とした。感染症は収束していないが、ようやく、今月、10月15日に、入場者を制限して学校祭を行うことができた。前日の14日には、初めて矢島中学校の全校生徒にYBPの研究発表と番楽の演技を披露している。今後の予定として、11月1日～4日に2年生の修学旅行を実施する。コロナ禍で県内1泊2日の旅行が2年続いたが、今年度は関西方面への3泊4日の予定である。

※この後、3年生の進路状況と資料「学校活性化に係わる今年度の実施状況」に沿って説明した。

### 4 各ワーキンググループからの報告

※第2回ワーキンググループ協議記録資料に沿って、各委員長より報告した。

#### [庄司副会長]

WG1のボランティア活動について、コロナ禍前は活動内容や時間について県内トップクラスだったと思うが、活動時間的に現状はどうか。

#### [湊WG1委員長]

全校で行った学校祭前の校外清掃ボランティアが1時間程度、矢島小学校と本校1年、3年が行ったひまわりプロジェクトが3時間程度、今後は除雪ボランティアが2時間程度、ひなめぐりが開催されればそちらも参加する予定であ

る。その他有志の活動も考えられる。

[庄司副会長]

ボランティア活動の意識付けが重要と考えるので、以前にも提案したことがあったと思うが、ボランティア活動をしている人物の話を見聞させるというのも検討してみたい。

[校長]

これまでのコロナ禍の影響でボランティアの機会が減り、ボランティア部の部員もゼロという現状であるが、ボランティア活動を通して様々な世代の方と交流ができ、自己有用感が育まれると考えるので、いただいたご意見を参考に今後も効果的な活動になるよう検討していきたい。

[佐藤委員]

WG3の保護者負担軽減改善策で給食提供の説明があったが、どのような経緯があるのか。

[校長]

WG内だけでなく、県の方で高校生の昼食環境のアンケート調査を行ったり、関係団体からの提案などもあり、現在、市教委に中学校の給食を高校へ提供することが可能か検討していただいている。

[事務長]

県教委はアンケート調査などにより、学食、購買、パンの自動販売機など校内に昼食環境のない学校に対して、学校と検討を進めていくとしている。

最近、羽後高校も希望者に給食を提供したことなども参考にし、また、令和6年度から小中高連携校が開始になることも考え合わせて、高校への給食提供の可能性について、市教委に様々な点から検討してもらっている。校内でも保護者にアンケート調査などを行った。

実施できるとしたら、本校の特色の一つとしてアピールできると考えている。

[嵯峨委員]

WG3に参加しているが、給食の件は矢島地区の地産地消にも関係して実施できればよいと考える。

[大井会長]

運営協議会としては、前回の協議会やWGの内容から、何を進めてきたのかがわかることが重要だと考える。もう少し建設的に進めるべきではないかという印象が強くなっている。蓄積、実績を考えて今後の活動を進めてほしい。

## 5 矢島ブランディングプロジェクトの東北大会でのビデオ上映

※東北大会研究発表のビデオを視聴する。

[大井会長]

ジオパークすごろくシートの販売をするということだが、たとえばジオパークの協議会や鳥海山の会など、ジオパークに関係するような団体に販売協力をお願いするのはどうか。その他いろいろな企画ができそうな気がする。

[校長]

すごろくシートに関しては、学校祭で生徒が販売したり、矢島高校を応援する会の協力で、由利高原鉄道や、やさい王国のイベントで販売していただいた。

ただし常設販売などは、今後検討しているネット販売などとの調整が必要となってくる。学校の販売利益については寄付する方針としている。

[庄司副会長]

カダーレのジオパーク展示場所に設置をお願いしたり、販売だけでなく広く活動をピーアールすることも重要だと考える。

## 6 諸連絡（事務局：淀谷教頭）

・今後の予定について

第3回学校運営協議会は、今年度の学校評価、次年度の学校の取り組み、協議会の運営についてなどが主な内容になる。今後、会長、副会長と相談して日程調整する。

・その他

各WGの次回日程について調整をお願いする。

以 上